

公益財団法人京都健康管理研究会
平成 24 年度（第 60 期）事業報告

本財団は、京都府公益認定等委員会から公益認定の答申を得て、公益財団法人認定通知書が京都府知事より交付され、平成 24 年 4 月 1 日に、新たに公益財団法人京都健康管理研究会として、再スタートをきった。

本財団の理念「公益性を重んじ、難治性疾患への取組、その他疾病予防の推進」を掲げ、公益事業展開のため渾身の努力を傾注した。又、今年度は本財団中央診療所創立 60 周年の事業年度にもあたり、京都を始め他府県から中央診療所運営にご尽力、ご協力を賜った方々と一緒に、職員一同整然と記念事業を行なった。

本財団は、平成 24 年度事業計画に従い、「福祉」と「医療」を個別のものとして考えるのではなく、「福祉医療」の実践として今日的な課題に取り組み、患者や受診者を中心に事業を継続し、公益的な存在であることを貫いてきた。

本年度も、定款に定めるとおり公益・収益の区分けを図った事業について年間を通して、全職員が一体となって事業・業務を充実させた。

以下に平成 24 年度に実施した事業を報告する。

診療部（中央診療所）

診療部は、地域住民の健康管理を目的とした一般外来診療を行うとともに、病気の予防、病気の早期発見を目的に行ってきた健康管理部の健康診断において、要精査あるいは要治療と判定された受診者を対象に外来診療を行ってきた。また、医療の専門化時代に対応すべく、喘息、間質性肺疾患（サルコイドーシス、間質性肺炎、膠原病肺）、睡眠時無呼吸症候群、循環器、肝臓病、膠原病・リウマチ、神経内科、消化器、アレルギーなど専門医が診療を担当する専門外来、また、禁煙指導外来、栄養指導外来を設置して診療に当たってきた。

1. 外来患者数

平成 24 年度患者数（健康保険・自費）は 18,447 人（前年度 18,974 人、前年度比 97.2%）であった。

2. 社会福祉診療の状況

- (1) 低所得者、要保護者等の生計困難者に診療費の減免を行った。平成 24 年度の取扱件数は、1,853 件（前年度 1,953 件、前年度比 94.9%）であった。
- (2) 無料健康相談の取扱件数は 60 件（前年度 62 件、前年度比 96.8%）であった。

健康管理部（中央診療所）

健康管理部は、病気の予防、病気の早期発見を目的に、健康診断、健康指導を主とする事業を行った。加えて、契約企業の産業医としての産業医活動を行うとともに、講演会活動ならびに研修会へ職員を派遣し、健康管理に対する理解向上にも努めた。

1. 健康診断

平成 24 年度健康診断（出張および来所）の実施件数は 84,636 名（前年度 83,775 名、前年度比 101.0%）であった。

2. 健康指導

(1) 産業医活動

中央診療所は各種事業所と産業医としての契約を結び、担当医師が定期的に出向き、職場の安全衛生管理、衛生教育、労働者の健康障害に対する対応等を行うとともに、事業主・衛生管理者に対しての指導・助言を行い、個人の健康相談にも応じた。産業医契約事業所数 39 であった。

(2) 講演活動

- ・泉 孝英：「近代医学の 145 年 ―超高齢社会への歩み―」. 京都市総合教育センター 安全衛生研究会, 2012.12.30. 京都
- ・泉 孝英：「石綿による健康障害」. 建設業労働災害防止協会京都府支部 石綿主任講習会 2012.11.8（第 1 回）, 2013.3.14（第 2 回）. 京都

臨床研究センター

臨床研究センターは、診療所の健康診断受診者、患者を対象として、その得られた臨床成績の検討を行うとともに、成果を健康管理、診療の場にフィードバックすることを目的とした研究事業を行った。現在、主たる研究対象はサルコイドーシス、間質性肺炎、膠原病等の各種疾患であるが、生活習慣病対策を含めての広範な研究を展開した。

1. 患者に対する啓蒙活動、医師等の勉強会

慢性疾患患者、患者家族、一般の方及び医師・医療関係者を対象に、長期療養を要する疾病の予防・管理に関する下記の各交流会・健康塾、並びに勉強会を臨床研究センター主催により開催した。

(1) 在宅酸素友の会第 7 回ミーティング（平成 24 年 4 月 15 日、ハートピア京都）

講演 ①「医療と介護をめぐって」

②「在宅医療その 2」

③「肺の病気と在宅酸素療法」講師：谷澤公伸医師（呼吸器内科／間質性肺疾患）

参加 患者 14 名、付添者 4 名、その他 3 名、本財団スタッフ 32 名計 53 名

(2) 第 8 回サルコイドーシス患者医療関係者交流会（平成 24 年 7 月 22 日、ハートピア京都）

講演 ①「サルコイドーシスの治療：考え方とガイドラインと実際」

②「サルコイドーシスに合併する感染症の治療」

③「サルコイドーシスの神経病変への生物製剤の治療の可能性」

参加 患者 63 名、付添者・サルコイドーシス友の会役員・学会関係者等 31 名、本財団スタッフ 37 名、計 131 名

(3) 第 4 回健康塾（平成 24 年 9 月 29 日、京都文化博物館）

講演 ①「わずかのサインを見逃さない：～大きな病気が隠れているかも～」

②「医師になって 50 年：～ドイツ医学からアメリカ医学へ～」

参加：健診事業所 4 名、当所患者 10 名、一般 35 名、本財団スタッフ 44 名、計 93 名

- (4) 第7回膠原病をめぐって患者医療関係者交流会（平成24年10月21日、ハートピア京都）
講演 「間接リウマチの診断と治療」一よりよい理解の上で、日常生活を！—
参加 患者26名、付添者7名、その他4名、本財団スタッフ35名、計72名
- (5) 第5回健康塾（平成25年3月2日、京都文化博物館）
講演 ①「うまく老いること—診療現場・小説作品からみた生・老・病・そして愛」
②「待賢門院璋子と三条高倉」
参加 健診事業所8名、当所患者12名、一般55名、本財団スタッフ42名、計116名

2. 研究業績

研究成果、また広く当法人職員の研究業績、刊行物は別紙1の通りである。

報告事項（その他）

1. 理事会及び評議員会の開催状況

- (1) 平成24年5月27日：定例評議員会及び理事会
- (2) 平成24年6月6日：平成23年度（59期）事業報告及び同決算書を行政庁へ提出
- (3) 平成24年9月28日：理事会
- (4) 平成24年10月25日：理事会
- (5) 平成24年10月31日：評議員会（理事逝去に伴う理事選任）
- (6) 平成24年11月1日：上記変更案件につき、理事の変更を登記
- (7) 平成24年11月6日：理事変更届を行政庁へ提出
- (8) 平成25年3月9日：理事会
- (9) 平成24年3月21日：評議員会
- (10) 平成25年3月22日：平成25年度事業計画及び同予算書を行政庁へ提出

2. 施設認定の取得状況

労働衛生サービス機能評価機構による労働衛生サービス機能評価認定を受けている。

3. 職員の研修状況

- (1) 外部研修・講習：全衛連等の行う精度管理事業研修・講習に職員を参加させ（20件）、技術水準及び精度管理の向上に努めた。（別紙2参照）
- (2) 内部研修・講習：医療保険サービスの研鑽として、本財団主催による専門委員会活動や、技術水準向上を目指した所内研修・講習（9回）を行った。（別紙3参照）

6. その他本財団の目的達成に必要と認める一切の事業

- (1) 中央診療所の施設について、必要に応じて改修または修繕を行い、受診者へのサービスの向上並びに業務の効率化促進を図った。
- (2) 診療用放射線設備について更新を行った。
- (3) 人間ドック、各種健康診断の総合健診システムを更新した。
- (4) 公益法人に伴い、会計システムに関しても新公益法人会計基準（平成20年度改正基準）を実行した。

【別紙 1】

平成 24 年度 研究業績一覧

(1) 学会発表・講演

- ・泉 孝英 : どうして日本は世界一の長寿国になったのか—近代医学の 145 年. 平成 24 年第 1 回全衛連近畿協議会, 2012. 7. 13. 京都
- ・泉 孝英 : 女性は長寿・女性は元気. 住よい京都をつくる婦人の会「女性教養講座」, 2012. 9. 20. 京都
- ・泉 孝英 : 喘息医療～私の歴史～ケナコルトから抗 IgE 抗体、ICS/LABA 配合薬まで. 第 15 回京都喘息研究会, 2012. 10. 13. 京都
- ・泉 孝英 : どうして日本は世界一の長寿国になったのか—近代医学の 145 年. 平成 24 年度柏陵同窓会京滋支部文化講演会, 2012. 10. 14. 京都
- ・泉 孝英 : どうして日本は世界一の長寿国になったのか—近代医学の 145 年. 群星沖縄第 86 回臨床教育セミナー, 2012. 10. 22. 沖縄・浦添
- ・泉 孝英 : どうすればみんなが幸せに暮らせるか. 京志会秋期例会, 2012. 11. 7. 京都
- ・泉 孝英 : 明治期ドイツ医学留学生—留学形態と出身校. 医学史研究会, 2012. 12. 1. 京都
- ・長井苑子 : 関節リウマチと肺病変. 関節リウマチエキスパートセミナー, 2012. 6. 16. 金沢
- ・長井苑子 : Highlights 9th Scientific Symposium Pulmonary hypertension management - To the next decade-, 2012. 7. 7-8. 東京
- ・長井苑子 : 関節リウマチと肺. Simponi User's Conference in Osaka, 2012. 7. 26. 大阪
- ・長井苑子 : サルコイドーシスの治療: メトトレキサートは臨床経過を安定化させるか? 第 104 回日本呼吸器学会北海道支部学術集会特別講演, 2012. 9. 15. 札幌
- ・長井苑子 : IPF 治療における診療の実際. 第 4 回 IPF フォーラム, 2012. 9. 19. 京都
- ・長井苑子 : サルコイドーシスの理解と日常生活での注意点. サルコイドーシス医療講演会, 2012. 10. 9. 彦根
- ・長井苑子 : 関節リウマチと肺病変. 第 6 回東近江関節リウマチ研究会特別講演, 2012. 10. 11. 八日市
- ・長井苑子 : 特発性間質性肺炎—病気を理解し、うまく日常生活を送るために. 特発性間質性肺炎講演会, 2012. 11. 11. 宇治
- ・長井苑子 : 生き続けるということ: 診察現場と文学作品からみた生、老、病. 健康講話特別講演, 2012. 10. 23. 宝塚
- ・長井苑子 : 呼吸器疾患に伴う肺高血圧症の病態と治療. 日本新薬(株)社内講演会, 2012. 12. 14. 京都
- ・長井苑子 : 肺疾患カンファレンス. 司会, 2012. 6. 23. 京都
- ・長井苑子 : 京都肺高血圧フォーラム. 司会, 2012. 6. 27. 京都
- ・長井苑子 : 肺高血圧症クリニカルカンファレンス (TV conference). 司会, 2012. 7. 25. 京都
- ・長井苑子 : 第 9 回膠原病肺疾患研究会. 司会, 2012. 8. 11. 大阪
- ・長井苑子 : 第 32 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会. モーニングセミナー「特発性

- 肺線維症とその課題（自治医科大学教授 杉山幸比古先生）. 司会, 2012. 10. 6. 福岡
- ・長井苑子: 肺疾患カンファレンス. 司会, 2012. 12. 1. 京都
- ・長井苑子: 第 10 回膠原病肺疾患研究会. 司会, 2013. 3. 16. 大阪

(2) 編集・監修

- ・泉 孝英: 日本近現代医学人名事典 1868～2011. 医学書院. 東京. 2012
- ・泉 孝英編: 外来診療ガイドライン 2013. 医学書院. 東京. 2013
- ・びまん性肺疾患研究会編: (編集顧問: 泉 孝英、板谷光則、編集委員: 長井苑子、北市正則、井上義一): びまん性肺疾患の臨床 診断・管理・治療と症例 (第 4 版). 金芳堂. 東京. 2012
- ・長井苑子: 間質性肺炎を合併した肺動脈肺高血圧症におけるヴォリブリス適性使用に関する考察. 肺高血圧最新レビュー No. 5, 日本新薬 2012.

(3) 分担執筆

- ・泉 孝英: 戦時下における外地の医学校. 坂井 建雄: 日本医学教育史, 187-212, 医学書院. 東京. 2012
- ・泉 孝英: 医学・医療をめぐる話題—高齢者医療・介護日の現状と課題—. 泉 孝英編: 外来診療ガイドライン 2013, 610-612, 日経メディカル出版. 東京. 2013
- ・長井苑子, 泉 孝英: びまん性肺疾患—研究の歴史、今後の課題—. びまん性肺疾患研究会編: びまん性肺疾患の臨床 第 4 版, 3-10, 金芳堂. 東京. 2012
- ・長井 苑子: 特発性線維症. びまん性肺疾患研究会編: びまん性肺疾患の臨床 第 4 版, 113-122, 金芳堂. 東京. 2012
- ・長井 苑子: 膠原病間質性肺炎. 泉 孝英編: 外来診療ガイドライン 2013, 425-429, 日経メディカル出版. 東京. 2013

(4) 総説

- ・Nagai S, and Izumi T: Treatment with methotrexate in patients with sarcoidosis: Sarcoidosis, ed by Eishi Y, INTECH open science /open minds, March 2013; 275-290.

(5) 原著

- ・Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Sato H, Yamada R, Ito I, Kubo T, Ito Y, Watanabe K, Aihara K, Ikezoe K, Mishima M, Izumi T. Interferon regulatory factor 5 polymorphisms in sarcoidosis. Mod Rheumatol. 2013.
- ・Aihara K, Handa T, Nagai S, Tanizawa K, Ikezoe K, Watanabe K, Chihara Y, Harada Y, Yoshimura C, Oga T, Ozasa N, Uno K, Chin K, Mishima M. Impaired endothelium-dependent vasodilator response in patients with pulmonary fibrosis. Respir Med. 107(2):269-275. 2013
- ・Kawabata Y, Takemura T, Hebisawa A, Sugita Y, Ogura T, Nagai S, Sakai F, Kanauchi T, Colby TV; Desquamative Interstitial Pneumonia Study Group. Desquamative interstitial pneumonia may progress to lung fibrosis as characterized radiologically. Respirology. 17(8):1214-1221. 2012

- Meyer KC, Raghu G, Baughman RP, Brown KK, Costabel U, du Bois RM, Drent M, Haslam PL, Kim DS, Nagai S, Rottoli P, Saltini C, Selman M, Strange C, Wood B; American Thoracic Society Committee on BAL in Interstitial Lung Disease. An official American Thoracic Society clinical practice guideline: the clinical utility of bronchoalveolar lavage cellular analysis in interstitial lung disease. *Am J Respir Crit Care Med.* 185(9):1004-1014. 2012

(6) 座談会記事

- 泉 孝英 (司会) : 久保田公宜、武内健一、坂東琢磨、春日宏友 : 呼吸器疾患の診断と治療—最近の動向—. *日臨内会誌.* 27(5) : 530-540, 2013

(7) 随筆

- 泉 孝英 : 医療の公営化を視野に入れたわが国の医療制度再検討 (あとがき). *呼吸.* 31(2) : 205, 2012
- 泉 孝英 : 「呼吸」の30年. *呼吸.* 31(9) : 879, 2012
- 泉 孝英 : 社会保障の充実は財政危機を回避できるか. *日本医事新報* (4628) : 107, 2013

(8) その他

- 泉 孝英 : 追悼記 (故大島駿作先生). *結核.* 87(9)巻頭, 2012
- 泉 孝英 : 外地の医学校—戦時下を中心に—. 15 年戦争と日本の医学医療研究会会誌. 12(2) : 10-11, 2012
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 68 シェークスピア「リア王」*Pharma Medica* 30(4) : 136-140, 2012.
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 69 小高 賢「老いの歌—新しく生きる時間へ」 *Pharma Medica* 30(6) : 138-142, 2012.
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 70 酒井シズ「病が語る日本史」*Pharma Medica* 30(8) : 176-182, 2012.
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 71 高村光太郎「校本智恵子抄」*Pharma Medica* 30(10) : 146-151, 2012.
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 72 井上靖「わが母の記」*Pharma Medica* 31(1) : 206-210, 2012.
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 73 川端康成「山の音」*Pharma Medica* 31(2) : 200-205, 2013.
- 長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 74 村上 龍「55 歳からのハローライフ」*Pharma Medica* 31(4) : 158-163, 2013.

【別紙 2】

職員の研修状況

実施年月日	主催	会合名	出席者	会場
H24. 5. 31	一般社団法人京都府臨床検査技師会	生理検査分野（腹部超音波）研修会	3名	京都保健衛生専門学校
H24. 6. 22	一般社団法人京都府臨床検査技師会	尿沈渣検査法	1名	京都保健衛生専門学校
H24. 6. 23	一般社団法人京都府臨床検査技師会	乳腺超音波	2名	京都保健衛生専門学校
H24. 6. 23	ファイザー製薬(株)	肺カンファレンス	1名	ウェスティン都ホテル（京都）
H24. 6. 27	アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン(株)	京都肺高血圧症フォーラム	3名	ホテルグランビア京都
H24. 7. 8	N P O 法人精管構近畿支部	平成24年度技術部門B検定試験対策講習会	1名	大阪市森ノ宮がん予防センター
H24. 7. 13	全衛連近畿地方協議会	平成24年度第1回全衛連近畿地方協議会	5名	ホテルモントレ京都
H24. 8. 29 ～30	全衛連	V D T 健康診断研修会	1名	大阪リバーサイドホテル
H24. 8. 31	全衛連	選別聴力検査研修会	1名	大阪リバーサイドホテル
H24. 9. 6	全衛連（労働衛生サービス機能評価委員会）	施設認定実務責任者研修会	1名	仏教伝道センタービル（東京）
H24. 9. 20	京都循環器検査研究会	頸動脈エコー・下肢動脈エコーの進め方	4名	京都保健衛生専門学校
H24. 9. 29	京都脳神経・脈管超音波研究会，サノフィ・アベンティス(株)（共催）	第23回京都脳神経・脈管超音波セミナー，頸動脈プラークの超音波診断と治療の最前線	1名	京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）
H24. 10. 18	一般社団法人京都府臨床検査技師会	肝炎・肝硬変・肝癌の診断から治療まで	3名	京都府立医科大学
H24. 10. 20	フクダ電子京滋販売(株)	組織ドブラ法の有用性	2名	フクダ電子京滋販売(株)本社
H24. 10. 27	京都循環器検査研究会	心電図から読む病態～所見から診断へ～	3名	京都府立医科大学
H24. 11. 17	消化管エコー研究会，東芝メディカルシステムズ(株)（共催）	消化管エコーセミナー2012in大阪	1名	大阪科学技術センター
H24. 11. 29	京都循環器検査研究会	心血管領域のソノグラファーが知っておきたいエビデンス	2名	京都保健衛生専門学校
H25. 1. 24	京都府保健事業協同組合	請求漏れ・減点・返戻対策セミナー	1名	京都府保健事業協同組合
H25. 2. 22	全衛連近畿地方協議会	平成24年度第2回全衛連近畿地方協議会	3名	新・都ホテル（京都）
H25. 2. 28	労災保険情報センター，京都府医師会（共催）	医療機関のための接遇に関するセミナー	1名	京都府医師会館

【別紙 3】

内部研修・講習一覧

実施年月日	所内研修・講習の内容	出席者	会場
H24. 8. 21	月例研修会，講演：どうして日本は世界一の長寿国になったのか—近代医学の145年—	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H24. 9. 18	月例研修会，講演：これからの健康管理—健康診断の変遷—	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H24. 10. 16	特別講演：アムール川とオホーツク海の不思議な関係～未来の環境・食料を考えた取り組み～	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H24. 11. 20	月例研修会，講演：僧医講座 在宅医療—お迎えをどこで待ちますか？	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H24. 11. 21	健康診断コンピュータ処理システム研修会	所内スタッフ	中央診療所 5F研修会場
H24. 12. 18	月例研修会，講演：宇宙から電気を送れる！ 宇宙太陽発電所と地球のエネルギー問題	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 1. 22	月例研修会，講演：近代医学の145年	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 2. 19	月例研修会，講演：ガスのおはなし—発祥からエネルギー革命まで—	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 3. 19	月例研修会，講演：原子力発電の是非	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場